※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１６

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎　自立・共生・創造」（東京書籍）						
副教材等	生活学　Navi　資料＋成分表　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活との関わりを認識し、家庭や地域、社会に関心をもって積極的に取り組みましょう。
・実習を取り入れ、知識・技術を実践的・体験的に習得します。
・授業はプリントを中心に進めますが、自分でノートを作り、授業の内容のまとめや、疑問に思ったところを調べて記入してもらいます。
・初めて体験することや自信のないこともやってみましょう。また、日常生活で練習しましょう。
・多様な考え方を知り、自分の考えをもちましょう。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する、生活するうえで必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、「生きる力」を身につける。家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に身に付けている。また、自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。また、自分の意見をまとめる能力が身についている。	家庭生活や地域の一員として、自分自身の行動についての課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断、工夫し創造する能力を身に付けている。自分の人生や生活について考えを具体的にまとめたり、発表したりしている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 家庭生活や社会の一員としての自覚をもち、主体的に行動しようとしている。また、課題解決に向けて考えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	1.　生涯発達 2.　青年期の課題 3.　目標をもって生きる	a:　生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。 b:青年期の課題について理解し、自分の生活と結び付けて考え、その考えをまとめることができている。 c:　各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、自分の問題として捉え、具体的にまとめている。	定期考査	ワークシート ノート	ワークシート ノート
	人生をつくる	1.　人生をつくる 2.　家族･家庭をみつめる 3.　これからの家庭生活と社会	a:　現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会のかかわりについて理解している。 b:　家族・家庭と社会との関わりについての課題を知り、その解決をめざして思考を深め、文章にまとめている。 c:　積極的に家族･家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。	定期考査	人生スゴロク ワークシート ノート ノート	ワークシート ノート
	衣生活をつくる	1.　衣服の機能と素材 2.　被服実習	a:　衣生活について正しい知識を身に付けている。 基礎縫いの技術を身に付け、作品を完成させることができる。 b:　衣服の機能や素材を理解し、実生活に関連させて考えることができている。 気候や場面等 TPO に応じた適切な選択ができる。 c:　被服材料や構成についての学習を実生活に関連させて、自らの課題として捉え、意欲的に授業に取り組めている。	定期考査 作品提出	ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート 自己評価

※令和４年度以降入学生用

2学期	子どもと共に育つ	1.　命を育む 2.　子どもの育つ力を知る 3.　子どもの生活 4.　これからの保育環境	a：子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。子どもの健やかな発達を支えるために必要な技術を身につけている。 b：児童虐待や育児不安など現代の子育てに関する問題についての事例を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。子どもを取り巻く環境の変化と子どもを育てる意義、社会･地域・親の果たす役割について考え、まとめたり発表したりしている。 c：保育に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割について考えようとしている。子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。	定期考査	ワークシート ワークシート ノート ワークシート 絵本製作 ノート レポート	ワークシート 観察 ノート ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

	食生活をつくる	1.　食生活の課題について考える 2.　食事と栄養･食品 3.　調理の基礎 4.　これからの食生活	a：食生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を、実習を通して身に付けている。食事と健康との関わりについて理解している。 b：衛生面や栄養に関する学習を実生活に関連させて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。食生活をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。 c：自分や家族の食生活に関心を持ち、食生活と健康のかかわりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。食生活の安全と環境について考えようとしている。	定期考査 調理実習	ノート ワークシート レポート ノート	ワークシート ノート レポート 自己評価 ノート
3学期	超高齢社会を共に生きる	1.　高齢者の心身の特徴 2.　高齢者の生活と福祉	a：高齢者の心身の特徴を理解している。わが国の高齢化の状況を理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b：高齢者が尊厳を保ち、人生を全うするためのケアの在り方について考え、まとめている。共生社会を実現するために、社会の一員として何ができるかを考えている。 c：実践的、体験的な活動を通して、高齢者に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。	定期考査 高齢者体験	レポート ワークシート ノート	レポート

※令和４年度以降入学生用

	経済生活を営む	1.　消費生活と意思決定 2.　購入と契約 3.　消費者の権利と責任 4.　これからの経済生活	a:　生活における経済行為、消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて行動するために必要な基礎的な知識を身につけている。自立した消費者として、消費生活に関する情報を整理し、自らの消費行動に活かすことができる。 b:消費行動における意思決定について具体的な事例を踏まえて主体的に考え、適切に判断できる。消費行動について自身の生活と関連させて課題を見出し、消費生活を築けばいいか考え工夫している c:　生涯を見通した経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとしている。適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち、消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。	定期考査	ワークシート ワークシート ノート ワークシート ノート	 ノート ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度